

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	046(256)1900
担当部課名	生涯学習部	新磯公民館		
事務事業名	公民館活動費新磯公民館（新磯子どもまつり）		事業コード	15110

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯学習の推進	~63
施策名	第1施策	生涯学習機会の充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

社会教育法、市教育委員会事務局の組織等に関する規則、市公民館条例・規則

## 3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象（誰、何）	
子どもたちが実行委員となり、自分たちの手でまつりを企画・準備・実施をし、また、まつりを通して地域の人々と交流を深めることにより、自主性を養い、様々な学習体験をし、地域に対する理解を高める。 また、まつりの実施に当たり、公民館青少年部（青少年指導員、地域協力者で構成）を始め、ジュニア・シニアリーダー、老人クラブ、小学校PTAなど多くの地域の人たちが指導・参加しており、地域ぐるみでの学習を推進する。		実行委員（小学4・5・6年生） 指導・地域協力者	
		対象数	100名
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>実施日時 平成14年3月24日（日）午前10時～午後2時</li> <li>会場 新磯公民館</li> <li>実行委員会（まつり当日を含む） 5回</li> <li>まつりの内容           <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 食べ物・飲物コーナー（チョコバナナ、アイスキャンデー、綿菓子、ポップコーン、水あめ、フランクフルト、麦茶、すいとん）</li> <li>(2) ゲームコーナー（菓子つりゲーム、輪投げ、もぐらたたき）</li> <li>(3) 工作教室（フェルト工作、スライム、べっこうあめ）</li> <li>(4) お化け屋敷</li> </ul> </li> </ul>		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～ 年度

## 4 評価指標

指標名	実行委員等の達成感・満足感	実行委員等の参加者数	来場者数
指標式	まつり全体（企画・準備・実施）を通しての感想等	人数	人数
指標設定の意図	まつり全体（企画・準備・実施）を通して得た学習体験の成果を表す	まつりの企画の適正度、学校・地域への浸透度等を表す（ただし、一応の目安でしかないと考え）	まつりの企画の適正度、地域への浸透度等を表す（ただし、一応の目安でしかないと考え）

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度（評価対象年度）		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	75	85	a	90	b
指標	50	100	c	100	d
指標	1,500	1,000	e	1,200	f
事業費	決算（予算）額	100	100	100	100
	人員・時間数	1人・100H	1人・100H	1人・100H	1人・100H
	人件費	418	418	418	418
	その他経費	0	0	0	0
	合計	518	518	518	518
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 B ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 96.7%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%> )	

$\frac{a}{b} = \frac{90.0}{100.0} \times 100 = 90.0\%$	$\frac{c}{d} = \frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{e}{f} = \frac{1,200.0}{1,200.0} \times 100 = 100.0\%$
--	--	--

理由： の実績については、記入者の判断による。  
とについては、目標値を定めることが適当ではないので、数値による評価はできない。  
平成11年度以前は、小学校との共催で、会場を小学校としていたため、まつりの内容が異なる。

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由： 実行委員となる子どもたちの自主性が養われるとともに、地域の多くの人たちが指導・参加することにより、地域ぐるみでの学習が推進される。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由： 人件費を除く事業費は10万円のみであり、参加者・来場者の人数及び感想等による満足度等から、生涯学習の推進及び公民館事業への理解等について効果は十分あると考えられる。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 地域住民が事業の主体となることは望ましく、その方向で検討していくことは必要と考えられるが、実現については、時期的に今後の課題と思われる。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる	理由： 参加者・来場者の人数及び感想等から、満足度は十分だと思う。ただし、事業を実施する上で、改善点がまったくないという訳ではない。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由： 生涯学習の推進と地域ぐるみの学習体験は、福祉文化都市の形成へとつながるものであり、有効と考える。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 企画内容等を変えていくことにより、学習機会の充実を更に向上させることは可能と考える。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 子どもまつりは、商業的な行事ではなく、学習機会の充実を目的としていることを考えると、事業費削減は本来の目的を達成できなくなるおそれがある。

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	事業内容等にまったく問題点がないという訳ではないが、それは事業をステップアップさせるための改善点で、事業それ自体に問題があるわけではないと考えている。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--